



後援会会報 Vol. 22

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



翌檜祭開催

令和元年10月26日(土)・27日(日)に第22回翌檜祭(あすなろさい)を開催しました。「あすなろ」とは「檜のように成長する木」であり、「未来に希望を持って成長して欲しい」という意味が込められています。

今年の翌檜祭のテーマは「令和最初の大団円」です。令和最初の学祭がめでたく終わり、新元号に良いスタートが切れるようにと願いを込めてこのテーマにしました。

1日目はアイドルグループ「あかぎ団」さんによるライブやのど自慢、早食い競争。2日目はコロナチキチキッパーズ・オズワルド・しゅんしゅんクリニックPの3組の芸人さんによるお笑いライブやミニ運動会、クイズ大会が行われました。その他にもアカペラ部や空手部、ジャグリング部、ダンス部、軽音楽部などによる普段の練習や活動の成果を披露し、翌檜祭を大学全体で盛り上げていました。

前日や2日目が悪天候の中で開催された翌檜祭でしたが、学生や地元の皆さんがたくさん来場してくださり、楽しんで頂くことが出来ました。数多くの方々のご協力によって事故・事件もなく無事に翌檜祭の幕を閉じることができました。



これからの 前橋工科大学

理事長 宮下 雅夫

工科大生の保護者の皆さまこんにちは。皆さまには、日頃から大学運営に様々なご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

工科大は、法人化して6年が経過しました。この4月からは、新たな中期目標が前橋市から示され、大学では、これに基づいた中期計画を策定し、スタートしております。また、併せて学科再編等の大学改革も指示されておりますので、より魅力ある大学となるよう現在検討を進めているところです。

本学の学生を大切にきめ細やかに指導し、これからの時代に必要とされる技術者を養成すべく、この大学改革を進めてまいります。

ところで、21世紀は、大量生産というもののづくりの技術から持続可能な社会に寄与する人を支える技術・文化を創造する技術が求められております。

本学では、「人間性と創造性に富む技術者を輩出する大学」を目指して、教育カリキュラムを組み、教職員一丸となって学生指導に取り組んでいます。

おかげ様で、卒業生に対する評価も高く、就職は大手企業や公務員を中心に素晴らしい成果を上げており、また、大学院への進学者も本学のみならず、国公立の大学院への進学者も増えてきております。

今年度は、学生情報システムの新たな導入にあわせ、学生証のIC



カード化を図りました。これにより、大学のすべての情報が統合管理され、学生の利便性のアップやきめ細かい教育・指導ができる

環境が整いました。

さらに、PROC 受験やTOEIC・IPテストの全員受験、海外語学研修制度の拡充、メンタル相談事業の拡充など、学生にとって有用な事業を始めました。結びに、保護者の皆さまのご健勝・ご活躍をお祈りいたしますとともに、後援会の発展をご祈念申し上げます。



教育の質の保証 について

学長 星 和彦

大学にとり、「教育の質の保証」(そしてその公表)は、とくに現在、主要課題のひとつです。大学評価の項目ともなっているからです。講義とおし

てまた課程をつうじて、学生は何を理解したか身につけたか、社会で活動できる力を卒業の際にどこまで備えたか、それに関して大学はどのように責任を果たしているのか、問われています。学生は、シラバス(本学のホームページで確認できます)をとおして学ぶ内容を知り、視覚化された科目系統図(『学生便覧』に載せています)

から現状と今後の展開を理解します。今秋稼働し始めた学生情報システムも、学生が学修にどのように取り組めば良いのかについて、本人だけでなく、教員、保護者も客観的に把握できることを目指しています。このようにして、主体性をもつて学生が学びに取り組み、その達成を図り、さらに到達度を自覚できる、それが教育の質を保証することであると、理解しています。

50年ほど前、私が学生の頃には、「教育の質」という言葉すらありませんでした。教員は教えたことを講義し、わからないのは学生の問題、責任ということで、保証という概念が大学に求められていませんでした。科学、技術が高度に発展するにつれ、学問体系は多様化し、複雑さを増し、新領域もつぎつぎに生みだされてきました。変化の激しい状況が今後もつづくと考え



られるなか、主体的に学修し、そして仕事を含めて自己実現を図っていくためには、適切なサポートが必要で、すし、現在とくにそれが

重要さを増しています。

学生のみならず、意欲をもち、主体性を育み成長できる場として何が必要かを考え、また取り巻く社会の変化からの要請を受け、護るべきところは護り、変わるべきところは変えなくてはならないと思います。質の保証は、大学の成長であると考えています。

令和元年新たな 時代に期待



令和元年度
前橋工科大学後援会
会長
吉田 仁志

日頃より後援会活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

前橋工科大学は地域に根ざす公立大学として、地域の人々や産業界、近郊大学等と連携しながら、市民から愛され信頼され、期待されています。

このような地域に愛される、本学へ入学した新入生の皆さんは、大きな夢を持って学生生活を開始したことを思います。また、在学生の皆さんも、充実した学生生活を過ごしていることと拝察します。

大学生として過ごす時間は、人生の中で決して長い時間ではありません。皆さんにとって、大学での生活はとて

も大切な日々となり、共に過ごした友人は、これからの人生においてかけがえのない財

産になると思います。一人でも二人でも多くの相談できる友人を全国に持てるよう学生生活を過ごしてほしいと願っております。

後援会では学生生活をより一層充実できるよう、部活動やサークル活動の支援、学科助成事業、TOEIC 受験料補助や英会話教室等の開催、留学支援事業、就職支援活動など行っております。

保護者の皆様方にはご心配尽きぬことと思いますが、後援会では、実り多い大学生活をおくれるようだけのサポート行つく所存です。

最後となりますが、前橋工科大学で過ごす学生生活が良き思い出となり、令和という新たな時代での皆さんの活躍を祈念致します。

平成30年度 学位記授与式

平成31年3月25日(月)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、学位記授与式が挙行され、工学部卒業244名、博士前期課程修了39名、博士後期課程修了3名、以上286名が本学の学び舎を巣立っていきました。

学長から

「学位記は自らの路を選択し、自分の意図や構想、発想や夢を実現しようとする可能性と行動力を修められたことを証するものがあります。本学で学ばれたことを基礎とし、今後は自ら考え、判断し、工夫し、困難に直面しても立ち向かっていく事が出来ると信じております。皆さまのこれからのご活躍を心よりお祈りして、門出をお祝いする言葉といたします。」と式辞がありました。

卒業生代表者から

「共通の学問を通じ入学から卒業までの間、大変有意義な学生生活を送ることができました。卒業を節目に様々な道に向かって進んでいきます。自覚と誇りを持ち、それぞれの道で発揮し、どのような壁があっても乗り越え努力し続けることを約束します。」と答辞がありました。



平成31年度 入学式

平成31年4月5日(金)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)で、入学式を挙行了しました。工学部入学305名、博士前期課程入学46名、博士後期課程入学5名、研究生入学2名、以上358名が入学しました。

学長から

「工学の目標はものづくりであり、その使命は人間生活をより豊かに快適にすることにあります。IT技術は進化しつづけますが、全て置き換えられるとは考えていません。人と生活に関心を持ち、自ら考え判断し行動してください。前橋で、将来の目標をしっかりと見据えた大学生活を送ってください。前橋工科大学における勉学、研究、学園生活が知的創造と、豊かな人間性を育むことを願います。」と、入学される皆さまを歓迎した、式辞がありました。

新入生代表者から

「学則を守り勉学に努め、品性の陶冶に努力し、学生としての本文を全うし、本学開学の精神に沿い、学風の確立に邁進することを誓います」との宣誓がありました。



学生団体支援事業

大学では学生団体として活動を許可された30団体が学年・学科を問わず、仲間を作りキャンパスライフを楽しんでいます。より充実した活動を行えるよう、後援会では助成を行っています。

大学が活動を許可した30団体

・学生自治会

【部】

- ・アカペラ部 ・えん ・軽音楽部 ・硬式テニス部
- ・Comic Create Club ・サッカー部 ・写真部 ・ジャグリング部
- ・ストリートダンス部 ・バスケットボール部 ・バドミントン部
- ・バレーボール部 ・フットサル部 ・放送部 ・毎週住宅をつくる会
- ・ロボットテクノ部 ・スノーボード部 ・野球部

【サークル】

- ・空手サークル ・かるたサークル ・CLUTCH ・剣道サークル
- ・週末システムいろいろやろーぜーZ ・スポーツサークル
- ・フットサルサークル ・すいーとぼてと ・建築ラッチ ・マサコ
- ・クロワッサン



後援会助成事業

総会&講演会

6月8日(土)、前橋工科大学1号館151講義室において「令和元年度総会及び講演会」を開催しました。総会では、平成30年度の事業報告及び決算報告、令和元年度の新役員の紹介、事業計画及び予算等の議案について承認されました。

後援会では学生生活と大学事業の支援を行っておりますが、本年度は環境整備にも支援を行います。詳細につきましては、後援会ホームページに「事業について」内に掲載しましたのでご参照ください。

講演会では「就職を取り巻く環境変化と支援の在り方」と題し、(株)リクルートキャリアから講師の方をお招きし、学生や企業への影響を理解し、有意義なサポートを行うために

1、今時の就活(環境とスケジュール)
2、就活生の声
3、保護者の皆様に求められる支援について講演を開催いたしました。

限られた時間ではございましたが、皆さん、熱心に耳を傾けて下さいました。



英語力支援事業

後援会では学生の語学力向上や専門分野の学修促進に繋げるための支援も行っています。

本学では、代表的な英語検定試験のひとつであるTOEIC L&Rテストを受験して基準の成績を収めた学生に対し、「キャリアTOEIC」の単位を認定しています。

【TOEIC受験料支援】

「聞く」「読む」英語力を測る事を目的としたTOEIC L&Rテストは年10回、全国80都市で会場受講可能です。

学生1人につき1回2,000円、年間2回(合計4,000円)の受験料支援を行っています。

(学部1年生は9月にTOEICを全員受験したので、253名の会員生に対して助成を行いました)



【ビギナー英会話教室の開催】

令和元年5月7日～7月16日の毎週火曜日、前橋工科大学多目的ホールにおいて、前期「ビギナー英会話」を開催しました。外国人講師をお迎えし、ネイティブな発音や表現力を学びました。

スクリーンを見ながら大統領の演説を長文読解したり、ハロウィンなどアメリカに関する文化をクイズ形式で紹介したりと、楽しく学べると毎回好評です。

TOEICのステップアップ講座も行っており、10月8日～12月17日まで、後期「ビギナー英会話」も開講しました。

Evening English
ビギナー英会話教室

期間：5月7日(火)～7月16日(火) 毎週火曜日
※6月25日(火)は休講です

場所：1号館 多目的ホール
時間：①18:00～18:45
②19:00～19:45

担当講師は
ネイティブ・スピーカー！

- ・途中参加OK！
- ・退会自由！
- ・※海外留学してみたい！
- ・※TOEICの点数を伸ばしたい！
- ・※ネイティブの人と会話してみたい！
- ・※ニュースや映画の英語を理解したい！

※お申込みは学務課学生支援係まで
お電話に問い合わせてください！ kouenka@maebashi-it.ac.jp

料理教室

平成31年4月24日(水)、前橋工科大学メイビットホール2Fの学生食堂で、先輩学生が講師となって生協学生委員とともに各学科の新入生(昼の部と夜の部を合わせ男子4名・女子21名・計25名)が参加し料理を楽しみました。

毎年開催している料理教室。今年も先輩たち(学生委員会)が、新1年生のために企画しました。

今年のメニューは「肉じゃが」「豚汁」「ほうれん草のおひたし」の3品に決定。

当日は手作りのレシピも配布し家でも作ってもらえるようにしました。先輩の気持ち、伝わっているかな。

当日参加した新1年生。初めて顔を会わす他学部の仲間とも自然に会話が弾み3品が完成。



試食タイムは「美味しい!!」「楽しい!!」と大好評でした。後援会では、学生の食育向上と、在学生と新入生との交流を深めることを目的として、料理教室助成を行っています。

就活手帳

毎年、就職活動を行う学生に向け、積極的に行動し活用いただきたいとの思いから後援会が支援し作成している就活手帳を今年度も作成予定です。

就職活動に必要なコンテンツ満載の支援ブックとなっており、スケジュール管理も可能で就職活動中の学生の強い味方です。進路実現に向けて、活用ください。

学科助成支援事業

後援会では、全学科に対し、会員学生の学生生活充実のため「オリエンテーションに係る費用」「作品集作成費用」などの支援をおこなっております。

支援①

社会環境工学科
下仁田町自然学校におけるジオツアー

令和元年6月8日(土)、社会環境工学科の学生52名、教員1名にて「下仁田町自然学校におけるジオツアー」に参加してきました。

日本の地質学の重要拠点のひとつである群馬県下仁田町周辺には地質を学ぶ絶好のフィールドがあり、地層が構成される歴史、中央構造帯の露頭面の観察、川原における岩石標本の採取などを行いました。



実際の岩石・地層を意識的に観察するのは初めての学生がほとんどで興味深そうに見学する学生が多く見受けられました。

今後、講義を進めていく上で講義内容の理解がより進むと考えております。

支援②

システム生体工学科
東京ビックサイト 国際福祉機器展H.C.R.2019

令和元年9月26日(木)、システム生体工学科の学生53名、教員4名にて、「東京ビックサイト 国際福祉機器展H.C.R.2019」を見学して来ました。H.C.R.は、ハンドメイドの自動具から最先端技術を活用した介護ロボットまで、世界の福祉機器製品が集結したアジア最大規模の展示会です。約550社が出展しています。最新事情を見聞することにより、学修意欲が高まり、今後の学習につながることを期待しています。



留学支援事業

英語や専門分野に関する知識を海外で習得しようとする後援会会員の学生に、留学費用の一部を支援しています。今年度は3名の学生が利用し留学しました。

体験記①

Shafston International College (オーストラリア)
期間／8月19日から9月13日
システム生体工学科2年

今まで苦手としていた英語力の向上を図ってみたい、またこの語学学校には校舎に併設された学生寮があったことから留学を決めました。

授業は文法やリーディング、リスニングが中心で、先生は英語しか話しません、だんだん慣れてくるので、自信となり楽しくなります。

留学先の気候は日本とは逆に冬から春なので快適に過ごせました。移動手段はGo Card という、日本ではPASMO やSuica のようなものがあるので、放課後や週末はルームメイトとホームパーティーや観光など楽しむ事ができました。ただ、食事は毎日外食で日本食を食べる事がなく寂しいと感じたこともありまし



た。留学したことで外国人の友人が沢山出来、視野が広がりました。また、海外に行き、積極的にコミュニケーションをを広げ、より多くの人と関わり、世界についてもっと多くの事を知りたいと感じていました。

体験記②

AAA Language (フィリピン)
期間／8月25日から9月7日
建設工学専攻1年

授業は1対1形式で1日8コマ行われた。私の担当は哲学者のライセンスを持ち、以前はフィリピンの大学で教授をしていた先生だ。とても熱心で休憩時間や昼食の時間を

ども様々な話をしてくれた。入校時はほとんど会話ができなかったが、少しずつ自分から先生に話しかけることも増えて、スピーキングの面では成長を感じる事ができた。

休日には、先生の知り合いでツアーガイドをしている現地の方が様々なところへ連れていってくれた。語学学校の先生とは話題にならない内容を話しことができ、貴重な経験をすると共に、充実した週末を過ごすことができた。半



面、日本語であればスムーズに説明できることが英語だと思いうように伝わらないと感じたことがあり悔しい思いもあった。

留学を振り返り、語学面と文化面で多くの事を学べた2週間間は想像以上に充実した時間となった。自分で行動を起こさないと何も始まらないということも身に染みて感じた。

日本でも行動力をもって生活していきたい。

模擬店に参加しました

令和元年10月27日(日)翌檜祭の模擬店に後援会として「焼きまんじゅう」を出店しました。

群馬県及び前橋のソウルフードの「焼きまんじゅう」を地元の皆様、そして県外の学生さんにも味わっていただきたいと思い、後援会役員で参加しました。

当日は地元前橋の「原嶋屋」さんのご協力を頂き、焼き台をお借りし、焼きたての熱々を販売いたしました。



卒業後の進路

平成31年3月末日現在

平成31年3月卒業生の就職先

※一部抜粋して掲載

大学(学部)	社会環境工学科	システム生体工学科
	(株) 鴻池組 大成建設(株) (株) ネクスコ東日本エンジニアリング 群馬県庁 前橋市役所 他	キヤノン(株) (株) ジーシーシー 日野自動車(株) T&D情報システム(株) 北陸電力(株) 他
	建築学科	生物工学科
	鈴与建設(株) 大和ハウス工業(株) (株) ヤマト 東日本旅客鉄道(株) 三井住友建設(株) 他	アース環境サービス(株) 伊藤製パン(株) 農林水産省 JA高崎ハム(株) (株) ヨコオデイルーフズ 他
	生命情報学科	総合デザイン工学科
大学院	(株) NTTデータエンジニアリングシステムズ ジェイアール東海情報システム(株) Sky(株) 富士ソフト(株) 他	朝日印刷工業(株) (株) OKIアイディエス 日本ファシリオ(株) 北野建設(株) 若築建設(株) 他
	建設工学専攻	システム生体工学専攻
	日本水工設計(株) メタウォーター(株)	サンデンホールディングス(株) 太陽誘電(株) 他
	建築学専攻	生物工学専攻
	(株) 石井設計 (株) 大林組 (株) 竹中工務店 他	カーリットホールディングス(株) (農) (株) タマムラグリーンファーム 他
大学院	生命情報学専攻	
	(株) NTTデータ東海 (株) 日立ハイシステム21 他	

※詳細は大学キャリアセンターHPをご覧ください。

<https://www.maebashi-it.ac.jp/career-center/>



平成31年3月卒業生の大学院進学先

大学(学部)	社会環境工学科
	前橋工科大学大学院
	建築学科
	前橋工科大学大学院 筑波大学大学院 東北大学大学院 他
	生命情報学科
大学院	前橋工科大学大学院 電気通信大学大学院 他
	システム生体工学科
	前橋工科大学大学院 奈良先端科学技術大学院大学 他
	生物工学科
	前橋工科大学大学院 筑波大学大学院 他
大学院	総合デザイン工学科
	前橋工科大学大学院
大学院	システム生体工学専攻
	前橋工科大学大学院(博士後期課程)

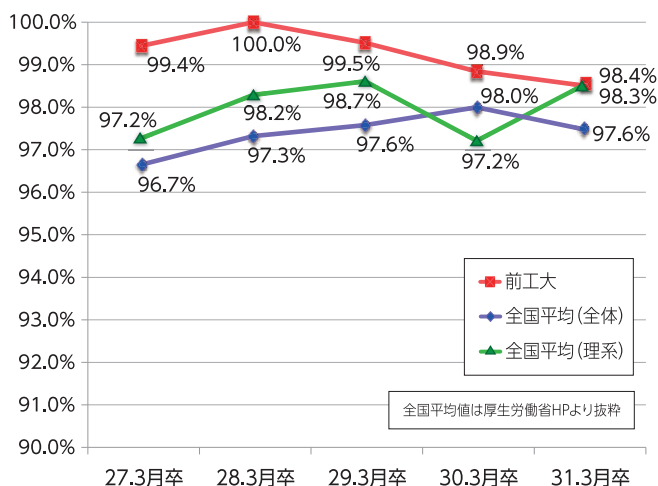
平成30年度 学部卒業生 就職・進学状況

工 学 部 名	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	大学院進学率	専門学校等進学率	その他
社会環境工学科	44	37	37	100.0%	7	0	0
建築学科	50	32	32	100.0%	14	1	1
生命情報学科	38	30	28	93.3%	5	0	3
システム生体工学科	36	19	19	100.0%	15	2	0
生物工学科	37	26	26	100.0%	9	0	2
総合デザイン工学科	42	36	35	97.2%	1	0	4
合 計	247	180	177	98.3%	51	3	10

平成30年度 大学院修了者 就職・進学状況

工 学 研 究 科 専 攻 名	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	後期課程進学率	専門学校等進学率	その他
建設工学専攻	5	5	5	100.0%	0	0	0
建築学専攻	14	13	13	100.0%	0	0	1
生命情報学専攻	5	5	5	100.0%	0	0	0
システム生体工学専攻	11	10	10	100.0%	1	0	0
生物工学専攻	4	4	4	100.0%	0	0	0
環境・生命工学専攻	4	1	1	100.0%	0	0	3
大学院前期課程合計	39	37	37	100.0%	1	0	1
大学院後期課程合計	4	1	1	100.0%	0	0	3

学部学生就職率の推移



※就職率は、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職を希望する者であり、進学・自営業・家事手伝い・留年・資格取得等を希望する者は含まない。

後援会からのお知らせ

後援会活動についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。

学生たちがより充実した学生生活を送る事が出来るよう、保護者の皆様から後援会に対するご意見・ご要望などをお寄せいただきたいと思います。また、後援会に対するお問い合わせや情報提供もお待ちしております。

前橋工科大学後援会事務局 (前橋工科大学学務課学生支援係内)

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1

TEL : 027-265-7361 FAX : 027-265-3837

E-mail : kouenkai@maebashi-it.ac.jp

ホームページ : <https://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

